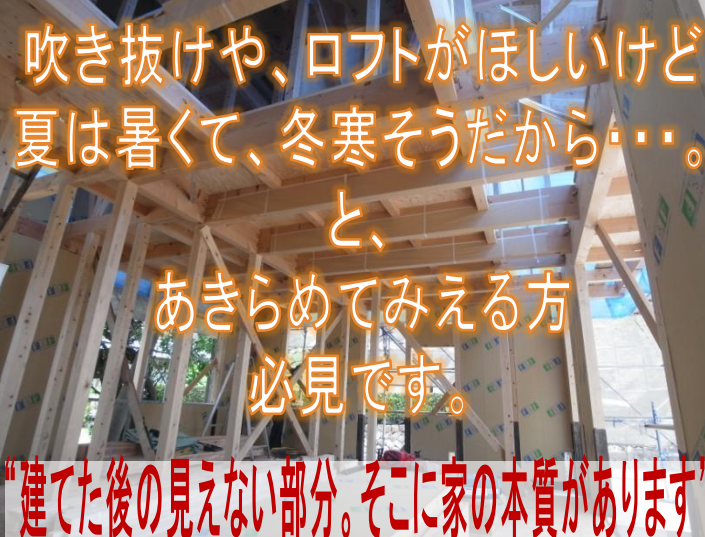


構造



吹き抜けや、ロフトがほしいけど夏は暑くて、冬寒そうだから・・・と、
あきらめてみえる方必見です。

「建てた後の見えない部分。そこに家の本質があります」

第1回(全2回開催) 見学会
6月6(土)・7(日)
AM10:00~PM17:00

高い断熱力

グラスウールのなんと2倍の断熱性能

他工法との断熱力の比較

	硬質ウレタンフォーム	グラスウール (16K)	ポリスチレンフォーム
熱伝導率 (W/mK)	0.024	0.045	0.040
厚さ (mm)	105	100	50
断熱力 (熱抵抗) [厚さ(mm)÷熱伝導率]	4.37	2.22	1.25

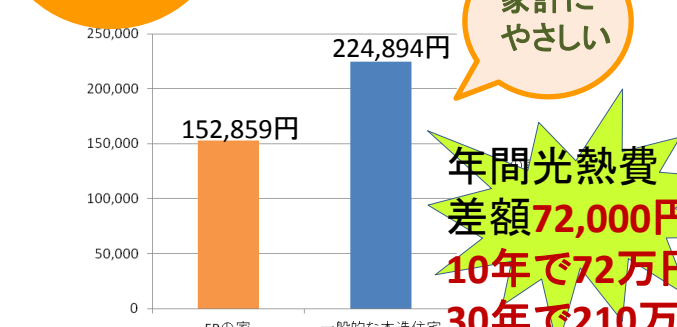
※数値はグラスウール、ロックウールは11S A9521より引用、硬質ウレタンは11S A9511より引用、硬質ウレタンは11S A9511より引用
FPパネルの断熱力は4.37

断熱力(熱抵抗) = 使われる断熱材の厚さを熱伝導率で割った数値です。
数値が高い程、断熱力があります。実際の硬化を比較する際に用いられます。
標準で105mmのウレタン断熱パネルを使用する「FPの家」の断熱力は4.37。他の工法と比べても高い数値を示していることがわかります。

養生シートで、締め切った建築中の現場の中は蒸し暑いだろうな～と思っていたんですが建物に入ってびっくり!! “カラッとして、涼しいなんて”
お施主様:談

驚きの省エネ

FPの家に住むだけで光熱費削減
光熱費で住宅性能がわかる。



優れた気密力

一般の住宅: 約9m³/1m²
FPの家: 約0.5m³/1m²

住宅の気密性を表す数値 (C値)
「FPの家」相当隙間面積0.45cm²/m²

住宅の気密性とは、バケツから水が漏れるのと同様に、家からどれだけ空気が漏れるかを表す性能のことです。つまり、住宅にいた隙間がどれくらいあるかを数値で表したものが気密性で、これは「相当隙間面積 (C値)」を実測することで比較できます。

- 気密性に配慮していない一般の住宅
1m²当たりの隙間が9~10cm²程度
- FPの家
1m²当たりの隙間実測平均で0.45cm²の「FPの家」はそのおよそ20分の1。気密性の高さを実証しています。

FPの家では、お風呂の追いだきを一回も使っていません。だって、冬でもお湯が冷めませんから。
お客様:談

開催場所: 各務原市須衛町8丁目
今回の見学会は、お施主様の大切なお家にて開催致します。

今年度の住宅建築はメリットあり!!!
○補助金100万円
○省エネポイント30万ポイント
○すまい給付金など税制優遇あり